

戦国末期の 北遠と松平信康の生涯

開催期間 令和5年

10月4日(水) ~ 12月3日(日)

桶狭間の戦いの後、徳川家康は遠江国に進攻し、浜松城を築いて、関東に移封されるまでの間、居城としました。この間、遠江国をめぐるのは、徳川氏と武田氏との間で幾つかの激しい戦いが展開され、北遠（現在の浜松市天竜区）においても、二俣城や犬居城などをめぐる攻防が繰り返されました。

天正7（1579）年、家康の正室築山殿と嫡男松平信康が相次いで命を落とした、家康にとって人生の痛恨事である松平信康事件が起きました。この事件がなぜ起きたのかは、史料が乏しく、現在も謎に包まれています。

本展では、家康が諸役免除と天竜川の筏流しの特権を与えた朱印状や二俣城の城郭絵図などにより、戦国時代末期の北遠地域の様相を紹介します。また、平成7（1995）年11月から1年にわたり静岡新聞に連載された早乙女貢の小説『信康謀反』の挿絵原画を展示し、二俣城で非業の死を遂げた松平信康の生涯をたどります。

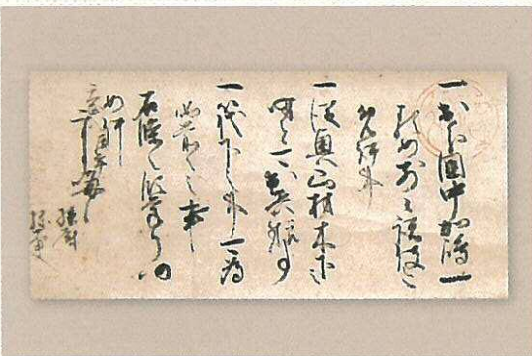
▲『信康謀反』挿絵原画（部分）



▲『遠江国風土記伝』より二俣城城郭絵図（個人蔵）



▲清瀧寺寺領絵図



▲徳川家康下諸役免除等朱印状



▲今川義元知行安堵状



ウォーキングイベント

信康ゆかりの史跡を巡る

日時 令和5年 11月11日(土) 9:30~12:00 ※雨天中止

コース 二俣本町駅(集合)~鳥羽山城跡~二俣城跡~清瀧寺(解散)

案内役 天竜ふるさとガイドの会

定員 30名(先着) ※10月4日(水)9時から受付開始

申込方法 内山真龍資料館へ電話または直接お申し込みください。

参加料
100円

